

棚倉小学校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

愛宕平のがけ（がけ上にピアノ教室）

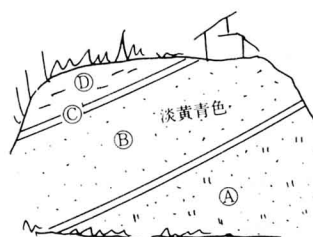
(2) がけから離れて地層全体を観察する。

① 自動車に注意して、がけの地層が見通せる所からがけの全景をスケッチする。



② 地層の傾きや、重なり方に注意して地層を書き入れる。その際、地層の色や厚さなど気付いたことを書き入れる。

③ この高台は、うすい亜炭層をはさむ砂質の④、⑤層や粘土質の⑥層が重なって、できていることを理解する。



④ また、亜炭層は横に長く続いています。このことから地層は広がりをもっていることも理解できます。

たかじょう橋の川床にも亜炭層が川に沿って見られます。この亜炭層と、愛宕平のがけの亜炭層は一つづきの地層でしょうか。児童に問題を投げ与えておきましょう。

(3) 地層に近づいて観察する。

④層を指で触ってみよう。クレンザーのような感触があります。これは砂に火山灰が混じっているため、凝灰岩質砂層と呼ばれます。

⑤層は④層と同じ地層ですが、5 mm大の円レキを含んでいます。

⑥層は黒っぽい亜炭層で、下の層は25cm、上の層は5～10cmの厚さをもっています。

⑦層は淡黄色で、粘土に火山灰が混じってできた凝灰岩質粘土層です。